

# 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施について

## 1. 目的

- 歴史的風致維持向上計画（以下「計画」という。）の進行管理・評価は、「計画」の進捗状況や成果の発現状況を自己評価し、PDCAサイクルを導入することにより「計画」に位置づけた方針の達成及び課題の改善の着実な進展を図る。
- 国に「計画」への取り組み状況を報告し、法に基づく指導・助言を受ける（歴史まちづくり法第8条、第10条）。
- 歴史的なまちづくりの地域への効果を把握し、行政の取り組みの説明責任を果たすとともに、成果をあげた取り組みにおける工夫等について、歴史まちづくりに取り組む市町村間の情報共有を図る。

## 2. 進行管理・評価の方法

- 計画に記載された取り組みについて毎年度評価を行う「進捗評価」と、計画に記載された方針の達成状況及び課題の改善状況について原則として認定年度の3箇年度後から3年度毎及び計画期間の最終年度に評価を行う「総括評価」の2通りの方法により実施
- 評価結果については、長野市歴史的風致維持向上協議会（法定協議会）の確認を受け、ホームページ等を通じて市民に公表

### <進捗評価> 毎年度実施

#### ①施策・事業の進捗状況（アウトプット）の評価 【自己評価】

- ・歴史的風致維持向上計画に定められている事項を元に、「①組織体制」「②重点区域における良好な景観を形成する施策」「③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項」「④文化財の保存又は活用に関する事項」「⑤効果・影響等に関する報道」「⑥その他」の評価軸ごとに、施策・事業の進捗状況の評価し、翌年度の取り組みに反映

### <総括評価> 原則として3年度毎及び計画期間の最終年度に実施（平成28年度対象）

#### ②計画の達成状況（アウトカム）の評価 【自己評価】

- ・毎年度行う進捗評価の結果を踏まえ、計画に記載された「歴史的風致の維持向上に関する方針」の達成状況や課題の改善状況の評価
- ・評価を踏まえ、要改善事項や計画見直しの必要性について記載

#### ③事業の質の評価 【外部評価】

- ・計画に基づき実施した代表的な事業の質（適切なプロセスを経て事業が実施されたか、計画の趣旨、歴史性、文化性、景観等の観点から適切に実施されたかなど）について、外部有識者（景観審議会委員や地方文化財保護審議会委員等）による評価を受領

### 3. 総括評価の具体的な内容について

#### (1) 計画の達成状況の評価 (様式2-1、2-2)

計画に記載した以下の6つの方針について、12月から翌年1月頃、市が達成状況や課題の改善状況を自己評価

計画の方針	方針の内容
①歴史的建造物の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財について、適切な保護措置を講じ、積極的な活用を推進</li> <li>・歴史的風致の核となる建造物は、歴史的風致形成建造物に指定し、修理費等を支援</li> </ul>
②伝統技術の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的建造物群保存地区制度等を活用し、伝統技術を用いた仕事の間を提供</li> <li>・住民や職人等と連携して伝統技術継承の仕組みづくりについて検討</li> </ul>
③歴史的まちなみと周辺環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的建造物群保存地区制度の導入</li> <li>・まちなみや景観に関する調査研究を実施</li> <li>・良好な景観形成を行うことを目的に組織された協議会等を支援</li> <li>・電柱電線類の地中化や移設、道路美装化の推進</li> <li>・歴史的まちなみに流入する自動車交通の抑制対策を検討</li> </ul>
④伝統的な祭礼等の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や専門家等と連携し、伝統的祭礼等の内容や特色、実施日等の把握</li> <li>・伝統的な祭礼等の担い手確保や育成に関する取組みを支援</li> </ul>
⑤文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光や情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の所有者や関係団体と連携し、文化財や歴史的風致の価値・魅力を情報発信</li> <li>・歩行者用案内板や説明板等を整備し、文化財を巡るルートを充実</li> </ul>
⑥歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等について、総合的な調査を継続的に実施</li> </ul>

#### (2) 事業の質の評価 (様式3-1、3-2)

##### ① 評価事業の選定・自己評価

3つの計画重点区域から1事業ずつ代表的な事業を選定し、12月頃、市が取り組みの質の担保に工夫した点、課題と思われる点等について自己評価

##### 総括評価(質の評価)実施事業

評価事業	事業年度	事業概要
善光寺・戸隠 ZT 1 善光寺周辺地域道路美装化事業	H15年度 ～H32年度	・善光寺周辺の市道について、歴史的景観に調和した舗装整備を実施
松代・若穂川田 MK 7 旧文武学校保存整備事業	H23年度 ～H31年度	・旧文武学校の保存修理及び積極的な利活用を促進するための環境整備を実施
鬼無里 K 1 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業	H25年度 ～H34年度	・「彫工北村喜代松」制作屋台等の保存及び「一木彫り」による優れた技術の情報を発信

② 外部有識者の選定・外部評価

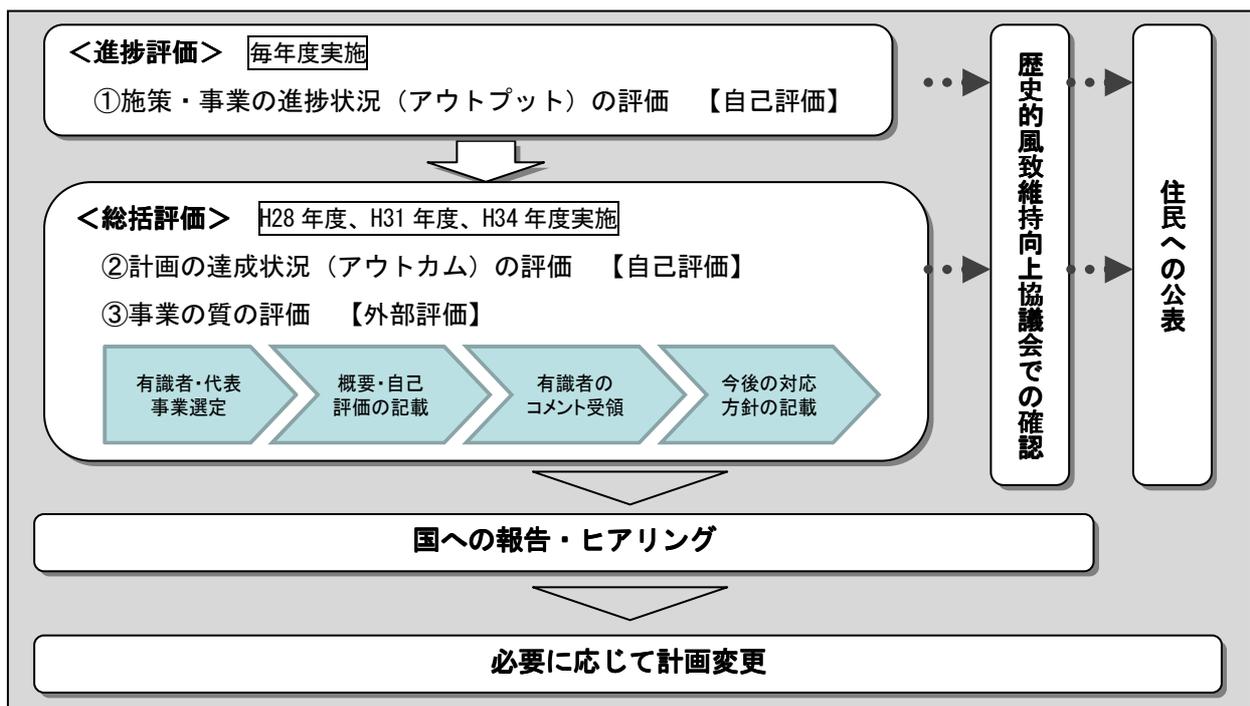
外部評価の客観性を確保するため、外部有識者は、長野市景観審議会委員及び長野市地方文化財保護審議会委員のうち、長野市歴史的風致維持向上協議会に参加していない委員から選定  
12月から翌年1月頃、外部有識者に評価事業の現場を視察していただき、評価コメントを受領

長野市歴史的風致維持向上計画総括評価 外部有識者名簿 (敬称略)

氏名	所属	備考
おおかみ としゆき 大上 俊之	長野市景観審議会 委員 (土木) 信州大学 工学部 土木工学科 教授	長野市景観審議会推薦
たたい ゆきみ 多田井 幸視	長野市地方文化財保護審議会 委員 (民俗) 元上水内郡飯綱町立 三水第一小学校長	長野市地方文化財保護審議会推薦

4. 進捗評価・総括評価の流れ

評価のフロー図



## 5. 進捗評価・総括評価のスケジュール

年	月 日	進捗評価	総括評価
H28	7月上旬		「質」のチェックを行う事業を選定 ・選定数は複数以上
	7月中旬 ～8月上旬		外部評価者（有識者）の選定
	11月下旬	国から評価様式等の送付	
	12月	進捗評価シートの作成	総括評価シートの作成 ①自己評価 ・「方針」の達成状況 ・「課題」の改善状況 ・代表的な事業の実施状況 等 ②外部評価 ・代表的な事業の質を外部評価者が評価
H29	1月		
	2月	長野市歴史的風致維持向上協議会（法定協議会）の意見聴取	
	4月下旬	国へ進捗評価・総括評価シートを提出	
	7月	進捗評価・総括評価シートをホームページ上で公表	